

演習説明

地域支援の展開

(社福)尾道のぞみ会 地域生活支援センターるり
尾道市障害者サポートセンターはな・はな
主任相談支援専門員 桃谷栄二郎

【演習】グループワーク地域支援の展開 タイムテーブル

時刻	時間	内容
15:20	10	グループワークの説明
15:30	15	インターバル報告書②の報告
15:45	20	地域変革のためのヒアリングシート (個人ワーク5分、グループワーク15分)
16:05	20	インターバル報告書② 地域支援をどのように展開していくか (個人ワーク5分、グループワーク15分)
16:25		終了

インターバル報告書②の報告

- ① インターバル期間に、基幹相談支援センター等に聞き取りを行い『相談支援体制』『(自立支援)協議会』などについて分かったことを報告する。
- ② 報告は、1人2分程度。
- ③ 他の地域の違い等も今後の参考にしてください。

- 『市町協議会の役割と社会資源の活用』を参考
- 進行はグループ内で決めてください。

使用するもの

様式8

受講者番号	グループ番号	受講者氏名
-------	--------	-------

インターバル報告書②

1. 地域の相談支援体制・自立支援協議会
地域の相談支援体制について(指定特定・委託・基幹が担う役割や機能がどのように整理されているか)

自立支援協議会について(自立支援協議会の役割や機能がどのように整理され、展開されているか)

インターバル時に行うこと(相談支援体制や自立支援協議会について、どのようにして調べてくるか)

2. インターバル時の取り組み内容・効果・基幹相談支援センター等との連携
相談支援体制についてわかったこと(実情や課題など)

自立支援協議会についてわかったこと(実情や課題など)

研修終了後、地域支援をどのように展開していくか(基幹相談支援センター等との連携も含む)

- 様式8 インターバル報告書②
- 他の地域での取り組みは参考になります。
- 時間にゆとりがあるときは、互いに質問しながら、情報を深めていきましょう。

この部分を報告

地域変革のためのヒアリングシート

- ① 導入講義を聞いて、改めてヒアリングシートを見直して見てください。追記があれば、記入してみてください(個人ワーク5分)。
 - ② 利用者からみた地域資源、地域アセスメントの視点について気づいたことを1人2分で報告しあいましょう(グループワーク15分)。
- ヒアリングシートは、利用者の視点で地域を見たときに、利用者と地域のつながりがどのようなになっているか気づきを得るためのものです。

使用するもの

書式2

受講者番号	受講者氏名
地域変革のためのヒアリングシート(利用者からみた地域の状況)	
<small>・テキスト13ページの記入例を参考にしながら、記載してください。 ・記載にあたっては、事前課題に取り組んだ利用者を想定し、この利用者が地域とのつながりや、社会関係性等についてわかる範囲で記入してください。不明なところは記入する必要はありません。</small>	
【1】 利用者が参加・所属している地域組織または参加しがっている組織について	
組織の名前は？	
どの程度の「参加」か？	
参加しやすい条件整備がなされているか？	
どのような条件が整えば、もっと参加しやすくなるか？	
<small><注> 自治会・趣味グループ・学校・ファンクラブ・生涯学習グループ・各種(連続)講座・ボランティアグループ</small>	
【2】 利用者の交友相手(友達)について	
どのような関係の人か	
利用者の資源になりうるか	
どうしたら資源になるか	
<small><注> 井戸端会議の相手・同級生・趣味友達・講座友達・級友</small>	
【3】 利用者が所属している当事者組織について	
どのような組織に属している	
利用者同士の問題解決のために十分機能しているか	

1

- 書式2 地域変革のためのヒアリングシート
- 地域とのつながりを意識してみましょう。
- 相談支援専門員の役割もふりかえりましょう。

地域支援をどのように展開していくか

- ① 講義『コミュニティワーク』などを参考に、研修終了後、地域支援についてどのように展開していくかについて記入(個人ワーク5分)
 - ② 記入したことを1人2分程度で報告しましょう(グループワーク15分)。
- 進行をグループ内で決めて進めてください。

使用するもの

受講者番号	グループ番号	受講者氏名
インターバル報告書②		
1. 地域の相談支援体制・自立支援協議会 地域の相談支援体制について(指定特定・委託・基幹が担う役割や機能がどのように整理されているか)		
自立支援協議会について(自立支援協議会の役割や機能がどのように整理され、展開されているか)		
インターバル時に行うこと(相談支援体制や自立支援協議会について、どのようにして調べてくるか)		
2. インターバル時の取り組み内容・効果・基幹相談支援センター等との連携 相談支援体制についてわかったこと(実情や課題など)		
自立支援協議会についてわかったこと(実情や課題など)		
研修終了後、地域支援をどのように展開していくか(基幹相談支援センター等との連携も含む)		

この部分を記入し報告

- インターバル報告書②を使用
- 困難な状況の中で福祉サービスを利用する人は、地域との関係も希薄になっていることも多く、地域とのつながりを意識することが重要です。